

2022年11月1日

各 位

九州史学会
委員長 小笠原 弘幸

2022年度九州史学会大会の御案内

拝啓 皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

来たる12月10日(土)・11日(日)に、2022年度大会を下記の通り開催いたします。ご多忙と存じますが、ふるってご参会下さいますよう、お願い申し上げます。

本年度は、大学・会場への入場者を、原則として発表者および学内関係者(教員・学生)のみとする形でのオンライン開催といたします。参加希望の方は、**12月6日(火)23時まで**に、登録フォームからご登録ください。

各部会の会場URLなど詳細な参加方法については、登録締切後、事務局より登録者にメールにてご連絡いたします。12月9日(金)午前中までに連絡未着の場合、迷惑メールとして処理されていないかをご確認のうえ、至急事務局までお知らせください。

なお、登録人数に上限があるため、上限に達したシンポジウム・部会は、期日前に締切となることをご了承ください。

登録フォーム(九州史学会ウェブサイトからもリンクがあります)

<https://forms.office.com/r/FKuXkTtXBT>



登録フォームのQRコードはこちらです

プログラム

12月10日（土） シンポジウム《アジアのなかの元寇防塁》

（定員 300 名. Zoom）

このたび、九州大学箱崎キャンパス跡地で発見された元寇防塁遺跡が国史跡に追加指定され、関係の調査が完了しました。本シンポジウムでは、これを記念して、発掘の成果を総括するとともに、元寇防塁の歴史的位置を、一国史をこえてアジアの視点から捉え直すことを目指します。

13:30	開会挨拶・注意事項説明		
13:35	〈趣旨説明〉		
13:45	箱崎キャンパス地区元寇防塁の構造的特徴とその背景	九州大学	福永 将大
14:15	異国警固と石築地	九州大学名誉教授	佐伯 弘次
14:45	界壕遺跡からみたモンゴルと金の攻防	新潟大学	白石 典之
15:25	元寇防塁前史としての高麗の対モンゴル戦争と対日交渉	九州大学	森平 雅彦
15:55	モンゴルの対外遠征における水と壁 —対日本遠征と対ホラズム・南宋・ベトナム遠征の比較—	同志社大学	向 正樹
16:35	総合討論・質疑・総括		

12月11日（日） 研究発表

〈日本史部会〉（定員 100 名. Zoom）

10:30	唐朝の対外交易規制と遣唐使・海商	札幌国際大学	篠崎 敦史
11:20	戦国期大内氏の対京都関係	九州大学	三浦 颯太
13:00	国学者鶴峯戊申の宇宙認識	九州大学	安藤 志真
13:50	明治立憲制における官吏懲戒制度の形成と枢密院	九州大学	田中 佑
15:00	日露開戦前における第一次桂内閣の対韓政策構想	九州大学	韓 相一
15:50	海軍軍事普及部と軍縮会議	北九州市平和の まちミュージアム	小倉 徳彦

<東洋史部会> (定員 100 名, Zoom)

13:00	鄭舜功の家系とその貿易活動—日本宣諭の背景として—	九州大学	夏 歡
13:40	乾隆年間の金川戦争における「漢奸」問題 —翻訳体制と「通事」への注目—	中国社会科学 学院大学	胡 霆
14:20	遼東の降倭鉄砲隊を率いた浙江人朱正 —万暦 22 年、モンゴルの広寧来襲をめぐって—	西南学院大学	久 芳 崇
15:15	北魏女性墓誌の銘辞にみられるジェンダー規範 —テキストマイニングを用いた数量的研究—	名城大学	大知 聖子
16:00	漢明間の王権観の変化について—皇帝璽を手がかりに—	中央大学	阿部 幸信

<朝鮮学部会> (定員 100 名, Zoom)

13:30	百濟官位制成立考	京都府立大学	井上 直樹
14:20	高麗末・朝鮮初における南京使行と大運河	九州大学	森平 雅彦
15:15	宇垣一成朝鮮総督期における綿羊事業政策について	立命館大学	落合 優翼
16:00	ロシア文学とボルシェビズム —1920 年代初めの植民地朝鮮における文学・社会批評を読む—	立命館大学	影本 剛

<西洋史部会> (定員 100 名, Zoom)

10:00	ケニア植民地精神医学における民俗語彙の「翻訳」とその位置づけ	京都大学	木村 香純
11:00	法制史の新たな潮流とその射程 —日本における最近の研究動向によせて—	学習院女子大学	正本 忍
13:00	黒人奴隷のファミリー・ヒストリーを紡ぐ —チェサピーク湾ならびにロウカントリー地域を中心として—	熊本大学	三瓶 弘喜
13:50	工場と住居の間?—パン屋、ホテル、レストランからみるヴィクトリア 時代後期イギリスの煤煙問題—	広島大学	春日 あゆか
14:40	戦間期におけるコミサリオの変容とブラジル経済	大阪大学	野口 駿之介
15:30	ホロコースト後のドイツにおけるユダヤ人社会の再建 —カール・マルクス (1897-1966) とアルゲマイネ紙に着目して—	共立女子大学	田村 円

<イスラム文明学部会> (定員 100 名, Zoom)

10:00	13 世紀後半におけるマムルーク朝とジョチ・ウルスの使節派遣 —ポスト・バイバルス=ベルケ期に着目して—	九州大学	山下 智也
10:40	16 世紀末オスマン帝国宮廷における宦官長の個人的紐帯について —白人宦官長ガザンフェル・アアを中心に—	九州大学	松本 和希
11:15	法の裁きの及ばぬ土地におけるファトワー —サアド朝期モロッコの駆け落ち騒動手記をもとに—	東京外国語大学	篠田 知暁
12:00	委任統治領パレスチナにおける新聞と指導者	中央大学	倉野 靖之
14:00	シンポジウム「オスマン帝国における階層とジェンダー」 司会：澤井一彰（関西大学） 趣旨説明：秋葉淳（東京大学）		
14:05	近代オスマン朝における遊牧民集団の「包摂」—アブデュルハミト 2 世期におけるエルトゥールル廟とカラケチリ族—	長崎大学	岩本 佳子
14:40	Social Origins of Ottoman Military Officers: Graduates of Kuleli Military High School in 1896	The University of T o k y o	Iku Nagashima Jun Akiba
15:15	The Guardians of the Imperial Harem: Baltacılar/Axemen and the Ottoman Palaces	Tokyo University of Foreign Studies	S a t o s h i K a w a m o t o
16:00	The Fountains of Ottoman Istanbul Constructed under Women's Patronage: Preliminary Observations	Tokyo University of Foreign Studies	Hatice Aynur
16:35	オスマン帝国近代の「投稿」する女性たち —女性雑誌の読者欄を手がかりとして—	お茶の水女子大学	松尾 有里子
17:10	総括 (17:30 終了予定)		

<考古学部会> (定員 300 名, Zoom)

10:00	北部九州地域における弥生時代人の頭蓋形質について	九州大学	米元 史織
10:50	弥生時代における「定形勾玉」の位置づけ	奈良文化財研究所	谷澤 亜里
11:30	東南中国の島をめぐる先史文化と交流 —中国における「海島型史前遺址」—	琉球大学	後藤 雅彦
13:10	北部九州における弥生時代青銅器の取り扱い方	九州大学	田尻 義了
13:50	弥生時代における鉄製方形板刃先の出現と展開	九州大学	松尾 樹志郎
14:30	西部瀬戸内地域に分布する初期須恵器について	愛媛大学	三吉 秀充
15:20	久留米城下町遺跡における鍛冶炉の検討	久留米市文化財保護課	長谷川 桃子
16:00	膠東半島における漢代の墓葬編年	九州大学	陳 映玉

〒819-0395 福岡市西区元岡 744 イースト 1 号館 九州大学文学部内 九州史学会事務局
E-mail: kyushushigakkai@gmail.com <https://kyushushigakkai.org/>